



右／平成20年4月 きもつき苑（火葬場）が供用開始
左／平成19年12月 東九州自動車道起工式（志布志IC～鹿屋串良IC間、L=19.2km）、東九州自動車道の地域内全区間の工事が着工

下／平成20年3月 国道220号古江バイパスが開通（花岡町～垂水市新城間、L=3.9km）



平成19年4月 鹿屋市産業支援センターと鹿屋市中小企業勤労者福祉サービスセンターをオープン



平成20年4月 鹿屋体育大学から4人の北京オリンピック選手が誕生



平成18年6月 ㈱スリーベルと立地協定を締結（120人雇用）



平成19年4月 市民交流センターと商業施設からなる「リナシティかのや」が竣工



右／平成21年4月 大隅肝属広域事務組合を発足
下／平成21年12月 鹿児島中央駅から鹿屋間を結ぶ直行バス第1便の乗客に記念品を手渡す山下市長



具体的には、①指定管理者制度の導入や職員定数・給与・諸手当の適正化を進めたほか、②事業仕分け等による大型事業をはじめとする事務事業の徹底した検証・見直し、③第2次・第3次産業を戦略的に振興するための商工観光部の設置など、時代に見合った組織



平成19年9月 市街地巡回バス「かのやくるりんバス」の運行を開始

う新たな地方分権の推進をはじめ、事業仕分けの実施等による、これまでの制度・政策の大幅な転換や、②今後、一段と厳しくなると予想される地域経済、③そして、何より、市民の価値観が「もの」の豊かさから「こころ」の豊かさに移行していることなどを踏まえ、非常に不透明な状況にあります。

このようなことから、引き続き本市の抱える課題に的確に対応するために、市民の皆様と行政が、新たな市長のもとで一丸となって、鹿屋市総合計画に基づく諸施策を推進していただければ、必ずや、鹿屋市が大隅地域のリーダー都市として、これまで以上に「時代に合

体制づくり等を推進し、健全財政を維持しているところであります。

これらの「融合」、「改革」の取組のもとで、産業振興や都市基盤の整備、観光・交通等の交流促進など、地域経済の活性化に向けた施策・事業を展開し、地方にとって厳しい時代にあっても、自立した自治体の形成を推進できたと考えております。

以上、これまでの市政運営とその成果等について申し上げますが、今、振り返りますと、吉ヶ別府産業廃棄物処理場問題や、中心市街地再開発問題、米軍再編問題などについて、議員の皆様と熱く議論を尽くしたことも懐かし、万感胸



に迫る思いがいたしているところがございます。

このように、私が、旧鹿屋市長、そして新鹿屋市長として在任した15年7か月余りは、鹿屋市にとって激動の時代であったとともに、この期間にわが国の首相も10人を数えるなど、国にとっても激変・混迷した時代にあつたところでございます。

私の任期は、2月4日をもって満了となりますが、今後においても時代潮流は、めまぐるしく変化し、先行きの不透明な状況が続くものと予想されるところであり、私は、地方のあり方そのものも、大きく転換していくと考えております。

また、今後の地方自治体を取り巻く環境は、①政権交代に伴い、地域主権とい



平成19年7月 日本一の規模を誇る「かのやクラウンド・ゴルフ場」がオープン



平成20年10月 ねんりんピック鹿児島2008クラウンド・ゴルフ交流大会を開催

致した足腰の強い自立した自治体」を形成できるものと確信しております。

最後になりますが、私が市長として在任したおよそ4期16年間、職員時代を含め、48年間の市役所生活を全うできましたことは、市民の皆様のおかげです。温かい支えがあったからこそ、改めて、厚くお礼申し上げます。

今後の鹿屋市の一層の発展と、皆様の御多幸を心からお祈り申し上げますとともに、多年にわたる皆様の御厚情に対し、深甚なる感謝の意を表し、ごあいさついたします。

長年にわたり、誠にありがとうございました。

新生「鹿屋市」の主な歩み

平成20年

- 4月・消防署輝北分署を大隅肝属地区消防組合へ移管
 - 鹿屋体育大学から4人の北京オリンピック選手が誕生
 - 5月・学校給食共同調理場整備実施計画を策定
 - ㈱理喜と立地協定を締結（50人雇用）
 - 6月・日本モレックス㈱と立地協定を締結（100人雇用）
 - 7月・輝北町ごみ処分場閉鎖事業に着手
 - 8月・「学校施設耐震化促進計画」を策定・事業開始（平成28年）
 - 9月・「学校規模適正化（学校再編）方針」を策定
 - 吾平地区鶴峰下ほ場整備工事に着手
 - 10月・「ねんりんピック鹿児島2008クラウンド・ゴルフ交流大会」を開催
 - 曾於南部畑地かんがい通水
 - 11月・事務事業仕分けを実施
 - 12月・「鹿屋市公有財産整理方針」を策定
- 平成21年
- 3月・「かのや男女共同参画プラン」、「鹿屋市高齢者保健福祉計画」等を策定
 - 申良町下小原配水機場の機能向上対策を実施
 - 古江バイパス起工式（古里く花岡間）
 - 地域サポート職員を発足

- 3月・市成地区ブロードバンド・ゼロ地域解消事業を整備
- 4月・商工観光部を設置
- 大隅肝属広域事務組合を発足
- 旧1市3町統合による町内会連絡協議会を発足
- 串良ふれあいセンター内につどいの広場「ふれあい」を移設
- 5月・ハンセン病市民学会第5回総会、交流集会を鹿屋市で初開催
- 携帯電話を使用した、各種手続の電子申請システムの運用を開始（県内初）
- 旧1市3町で構成する「関西鹿屋会」を設立
- 7月・皆既日食にあわせ、輝北天球館の整備と観測イベント「輝北天体フェスタ2009 inかのや」を開催
- 8月・輝北ダム移転記念公園の整備に着手
- 9月・串良総合支所を移転
- 10月・大隅地域の2市5町と「大隅定住自立圏」の形成に関する協定書」を締結
- 11月・リナシティかのやにバス待合所設置
- 12月・鹿児島中央駅から鹿屋間の直行バスの運行開始
- 桜ヶ丘住宅の建替え、吾平総合支所庁舎耐震及び改修工事が完了
- 「鹿屋市教育振興基本計画」、「鹿屋市市民スポーツ振興計画」、「鹿屋市生涯学習基本構想」を策定